

## [011] 嚶鳴 : 九州大学基幹教育広報誌

<https://hdl.handle.net/2324/1917862>

---

出版情報 : 嚶鳴. 11, pp.1-, 2018-04-01. 九州大学基幹教育院  
バージョン :  
権利関係 :

Kyushu University  
Faculty of Arts and Science  
"KIKAN Education" Magazine

# O H M E I

嚶鳴 おうめい

第11号  
2018年4月



ようこそ九州大学へ!

## 基幹教育広報誌「嚶鳴」について

対象 全学部・学科1年次生  
編集 基幹教育広報誌嚶鳴編集委員会  
発行 毎年4月  
発行者 基幹教育院



## 「嚶鳴」の由来

「嚶鳴」とは中国最古の詩集である「詩経」に出てくる言葉で、その意味について右に示しています。

また、この「嚶鳴」を冠した「嚶鳴天空広場“Q-Commons”」がセンター2号館4階にあります。この広場では基幹教育®関連の参考図書配架し図書館機能を持たせた勉学の場を提供するとともに、学生が気軽に集い語り合える学びの場を提供しています。

この広報誌の「嚶鳴」には、自然豊かな伊都キャンパスで多くの学生が仲間を求めて切磋琢磨しながらともに成長して欲しいという熱い願いが込められています。

## 目次

基幹教育院長あいさつ	3
基幹教育®の目的と目標	4
新入学生・学習サポート室からのお知らせ	5
九州大学入門～学生生活の道しるべ～	6
キャンパスライフ・健康支援センターの紹介	8
留学情報/SALCで英語の力を高めよう	9
ようこそ 九大図書館へ!!	10
情報環境を使いこなそう! 情報相談室からのお知らせ	12
平成29年度 全学公認学生団体	14
困ったときは、相談してください! 表紙・裏表紙写真/編集委員	15
センターゾーンを使いこなそう!	16

中国最古の詩集である「詩経」の小雅「伐木」にある

伐木丁丁 [木を伐ること丁丁たり]

鳥鳴嚶嚶 [鳥鳴くこと嚶嚶たり]

出自幽谷 [幽谷より出でて]

遷于喬木 [喬木に遷る]

嚶其鳴矣 [嚶として其鳴く]

求其友聲 [其の友を求むる聲あり]

相彼鳥矣 [彼の鳥を相るに]

猶求友聲 [猶友を求むる聲あり]

威勢良く木を切ると 響きあう鳥たちの声 深い谷間から高い木へと舞う その鳴き声は友を呼ぶ声だ あの鳥でさえ友を呼ぶ まして人ならば友を呼ばないことがあるのか……  
に由来。

【嚶鳴（おうめい）】

- ①鳥が仲よく鳴き交わしたり、友人を求めて鳴いたりすること。また、その声。(大辞林)
- ②友人同士が仲よく語り合うこと。
- ①鳥がむつまじく鳴きかわすこと。また、鳥が友を求めて鳴く声。(広辞苑)
- ②友人がむつまじく唱和すること。

## 基幹教育院長あいさつ

# 嚶鳴天空広場で 「対話による学び」を深めよう

九州大学 理事・副学長  
基幹教育院長

丸野 俊一  
まるの しゅんいち



厳しい受験競争を乗り越え、晴れて、九州大学に合格された学生の皆さん、入学おめでとう。世界へ、未来へ、新たな自分づくりに向けて歩き始めようとしている皆さんの心の中は、夢と希望に満ち溢れていることでしょう。その一方で、大学生活を如何に過ごしていくかに関して、迷いや不安や葛藤が渦巻いているかもしれない。でも、それでいい。未来は希望と不安が織りなす無限の可能性。その可能性の扉を切り開くか否かは、皆さんの心構え一つにかかっています。

その心構えとして大切なことは、躓きや失敗を恐れず、既成の思考枠組みや経験世界に閉じることなく、新たな・異質な世界に一步踏み出す勇気を持ち、挑戦するという前向きな心構えです。だが、自分一人で、主体的に新たな世界に挑戦することは容易なことではない。そこに刺激的な後押しをしてくれるのが、他者の存在・他者との関わりです。経験や価値観やものの見方や考え方の異なる多様な他者との出会いや関わり(「他者間対話」)が、新しい自分を引き出し、新たな可能性に気づかせ、更なる自分への挑戦・やる気を生み出す。ある人の潜在的可能性がどこまで開花されるかは、多様な他者との出会い・関わり関数に依存する、とあってよい。なぜなら、相互の価値観やものの見方や考え方の違いを認め合い、切磋琢磨しながら互恵的な学びを深める他者との対話(協働思考)過程は、各自の思考の限界や問題点を浮き彫りにしてくれる“思考の鏡”であり“創造の泉”である。

この他者との対話の中で重要なことは、「私は何を感じ、何を考え、どのように思っているか」という自己の内なる世界の声に耳を傾け、私を全面に出した一人称的発話で他者との対話状況に心・体・頭を開き、状況の中に立ち現れてくる課題や考えに真剣に向き合うことである。一人称的発話とは、私が生きてきた体験に重ねあわせた時に、私の心底から紡ぎ出される「生き活きとした生命感が漂う感じ・思い・考え」であり、実感に裏づけられたものである。それだけに、対話の場に臨む一人ひとりが一人称的発話で真摯にやり取りすると、今まで気づかなかった新たな意味や発想が創出し、物事の理解が深まり、知の地平線が拡大するに違いない。

そう、新たな学びは、自己の中に取り入れた他者の考えを自己の中で他者として生きる脱自的な体験の中での、自己・他者との境界線を横切る・越える場に生まれるとあってよい。それだけに、対話の輪を広げるときには、私を全面に出した一人称的発話による対話を志す姿勢を忘れないでほしい。正解志向の観点ではなく、異なる視点・思考の範囲・前提条件などを考慮しながら、異なる発想の起源は何処にあるかなど、純な心・頭で相互の意見を聴き・繋ぎ・絡め・応答する関わり姿勢が極めて重要である。

しかし、他者へと心・体・頭を開くことは、新たな知を創出する知的資源を取り入れることができるというプラスの面のみでなく、同時に、自分の無知や偏見や視野の狭さなどを相手の攻撃に曝し、傷つく可能性が高くなるというマイナスの面をも兼ね備えている。相互の差異性を認めあい、差異を活かし合う協働思考(対話)活動の場には、必然的にそうした両面性が潜在していることを認識しておく必要がある。しかし、そうした関係の文脈の中に潜在している後者のマイナス面を強く意識すればするほど、多くの場合、人はそうした学びの場を避けたくなし、避けようとする。避けてばかりでは、学びの機会を失い、自己の学びの可能性は広がらない。学び直し・学び直しなどの自己変革過程には、痛みやリスクを伴うことは必然的であり避けられない。「無知の知」を恥じることなく、勇気をもって、他者との関わりに挑むことが重要である。

大学の学びの中で恥ずべきことは、「無知の知」を曝け出すことや「失敗や躓き」を恐れることではなく、そうしたクリティカルな学びの場を避ける・体験したくないという“後ろ向きの学びの姿勢”そのものである。大学の学びで大切なことは、「知的遊戯性」の志向性をもって、“困難な課題に挑戦する”、価値観や考えの異なる異文化・異分野の多様な人々との間での“知的対話に積極的に取り組む”ということだ。

対話の輪の拡大により、「飽くなき好奇心」、「澄みきった感性」、「真実を見極める知恵」、「新たなものに挑戦しようとする勇気」に磨きがかかり、これら全てが一人ひとりの個性と調和することで、学生諸君の未来に大輪の花が咲くことを、心から祈念しています。

# 基幹教育®の目的と目標

(※基幹教育®履修要項より抜粋)

## ◎基幹教育®の目的と目標

### (目的)

九州大学の教育は、日本の様々な分野において指導的な役割を果たし、アジアをはじめ広く全世界で活躍する人材を輩出し、日本及び世界の発展に貢献することを目的としています。このために、基幹教育®は、専攻教育と協働して、生涯にわたって学び続けることを幹に持つ、行動力を備えた人材であるアクティブ・ラーナーへと成長していく力を培うことを目的としています。

### (目標)

1. 進展するグローバル社会で求められる、深い専門性や豊かな教養へとつながる知識、技能を身につけよう。
2. 新たな知や技能を創出し未知な問題を解決する力である「ものの見方・考え方・学び方」を身につけよう。  
既存の知識から解答を探すのではなく、自発的に問題を提起し、創造的・批判的に吟味検討することができる主体的な学び方を身につけよう。
3. ものの見方・考え方・価値観の異なる人と多様な知を交流し活動する能力、差異を認め合う共感性、そして問題解決へと導くコミュニケーション能力を磨こう。他者との対話、共に学ぶ協働、そして自らを振り返る内省のサイクルを通じての力を高めよう。
4. 生涯にわたって学び続ける強靱な幹を育もう。

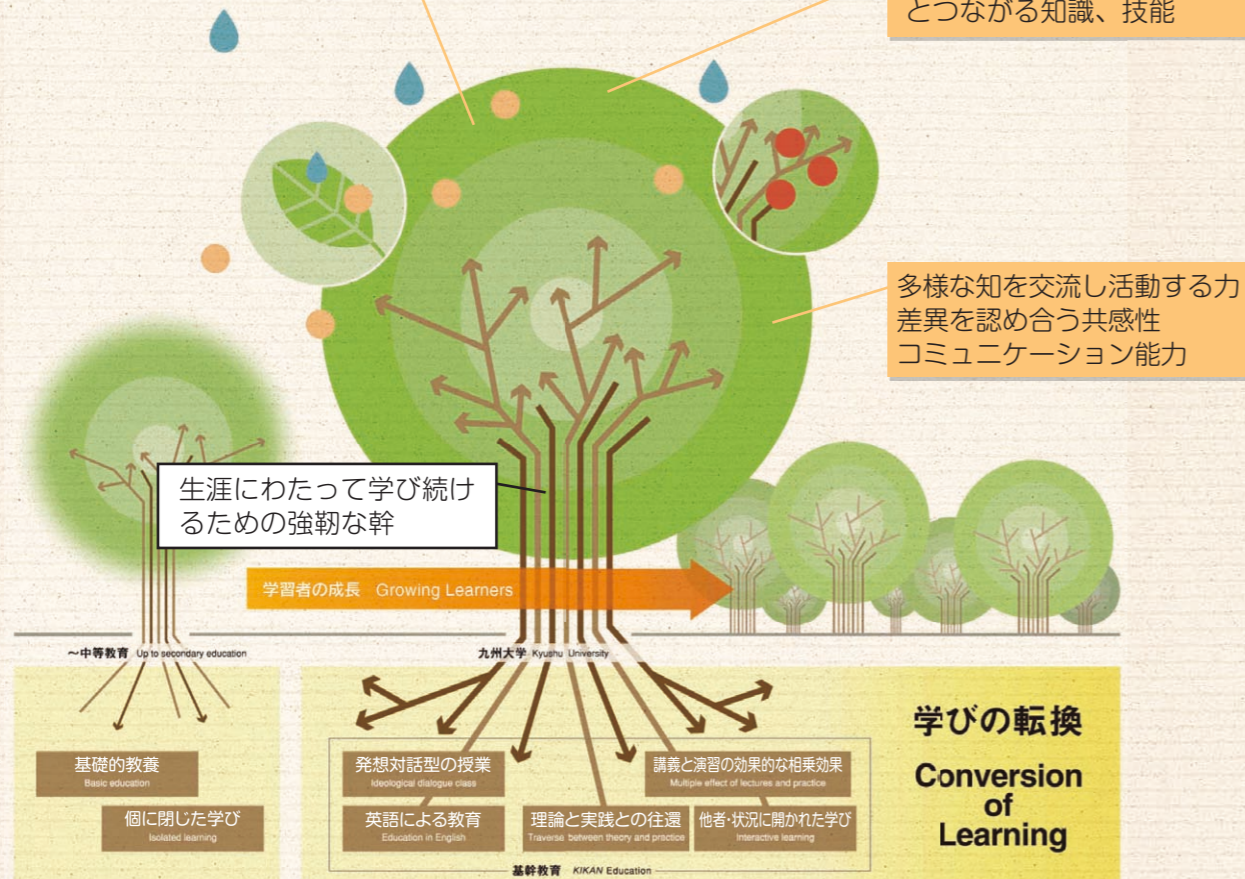


課題を発見し、創造的・批判的に吟味検討する主体的な学び

深い専門性、豊かな教養へとつながる知識、技能

多様な知を交流し活動する力  
差異を認め合う共感性  
コミュニケーション能力

生涯にわたって学び続けるための強靱な幹



# 新入学生・学習サポート室からのお知らせ

## 新入学生サポート制度

新入学生サポート制度は、学生の皆さんが入学直後に直面する様々な不安を軽減し、大学生活への円滑な移行を早期に図るため、先輩がサポーターとして生活上の相談に応え、支援を行う制度です。

毎年、入学式から授業開始までの時期において、多くの方が相談に訪れています。

よくある相談内容としては、大学内の施設や窓口の場所、サークルやアルバイトに関する相談等が挙げられます。高校までとは異なり、すべて自分で考え、行動することが求められ、新入学生の皆さんにとっては戸惑うことばかりだと思います。過去に同じような不安を抱え、それを乗り越えてきたサポーターからのアドバイスは、きっと皆さんのお役にたつのではないのでしょうか。

どんな相談でも構いません、サポーターが笑顔で丁寧に対応しますので、ぜひサポート室に足を運んでみてください。

活動期間 4月  
時間帯 授業開始後：平日 12:00～17:00  
場所 サポート室(センター2号館2102教室) (P17参照)

## 学習サポート制度

学習サポート制度は、基幹教育®を履修している学生の皆さんに、基幹教育の授業科目の学習支援、学習相談を行うと同時に大学生としての主体的な学習態度の涵養を図るため、大学院生の先輩がサポーターとしてアドバイスを行う制度です。

具体的な内容は、授業で理解が不十分だった箇所の解説やレポートの書き方などの他に、進路に関する相談も行っています。

他にも、就職活動についての体験談などを聞くこともできます。学部低年次生(特に新入学生)の皆さんから見ると、大学院生のサポーターは少し大人で緊張してしまうと思うかもしれませんが、彼らはみな優しく丁寧に対応してくれます。学習面で気になることがあれば、気軽にサポート室を訪ねてください。

活動期間 5月～翌年2月  
(授業が行われる日)  
時間帯 平日 14:50～18:10 (4限、5限の時間帯)  
場所 サポート室(センター2号館2102教室) (P17参照)

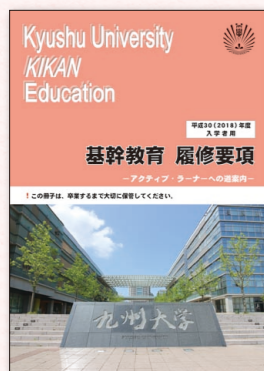


# 九州大学入門 ~学生生活の道しるべ~

九州大学に入学した皆さんには、入学式前後に、大学から様々なパンフレットが配られています。これらは、皆さんがこれから九州大学において学生生活を送る上で大切な情報が掲載されています。そのうち主なものを以下に掲載します。是非目を通してください。

## 冊子版のパンフレット

以下で紹介するパンフレットは、冊子版として紙媒体で配布されています。Web上で電子版が公開されているパンフレットについては、URLとQRコードを併記していますので、是非利用してください。



**■ 基幹教育履修要項**  
入学直後から学ぶ基幹教育科目の履修上の注意、各学部・学科の指定科目、授業科目の目的や概要等、基幹教育を履修する上での重要な情報を掲載しています。卒業するまで大切に保管してください。

[http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/campus\\_life/pdf/30youkou.pdf](http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/campus_life/pdf/30youkou.pdf)



**■ 学生ポータルシステム 利用の手引き**  
履修する授業科目の申請(登録)や、成績の確認をする際に利用するwebシステム(学務情報システム)の利用方法について説明しています。

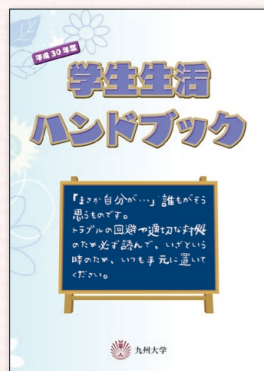
<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/education/class/learning/portal/>



**■ 学生案内**  
学生生活に必要な情報を、特に伊都地区センターゾーンを中心に掲載しています。その他、全学の学生関係施設の情報なども掲載していますので、大いに活用してください。



**■ キャンパスライフ・健康支援センターご案内**  
急激な環境の変化やストレスから、こころやからだの不調をきたす場合があります。そのような時は遠慮しないで、センターの各相談室を訪ねてください。必ず力になってくれます。



**■ 学生生活ハンドブック**  
学生生活上のさまざまなリスクのうち、特に知っておかなければならないことを中心に掲載しています。内容を熟読し、身の回りのリスクから、自身を守るリスクマネジメントを身につけてください。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/education/life/pamphlet/guide>

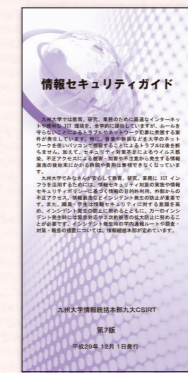


**■ 嵐雲**  
体育系「公認サークル」の情報誌です。キャンパスには、サークルを駆って、個人情報を聞き出すダミーサークルも見受けられますので、サークル名や活動内容を必ず確認して、安易に個人情報の交換をしないようにしましょう。



**■ 留学ガイド**  
交換留学、短期留学など少ない負担で留学できるプログラムや体験談を紹介しています。大学の支援を賢く利用して国内外で広く活躍できる人材を目指しましょう。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/student-exchange/pamphlet.pdf>



**■ 情報セキュリティガイド**  
九州大学でみなさんが安心して教育、研究にICTインフラを活用するためには、情報セキュリティ対策の実施や情報セキュリティポリシーに基づくインシデント発生の防止が重要です。これを読んで九州大学のICT利用のルールを学びましょう。

<https://www.sec.kyushu-u.ac.jp/sec/pdf/sec-guide.pdf>



**■ 九州大学伊都キャンパス ガイドブック**  
伊都キャンパスの施設・食堂・売店・展示物等について紹介しています。これを読んで伊都キャンパスライフを満喫しましょう。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publicity/publications/ito/>



## 電子版のパンフレット

以下で紹介するパンフレットは、電子版としてデジタル教材配信システムBookRollで配信されています。BookRollの利用方法の詳細は、<http://lac.kyushu-u.ac.jp/m2b/index.html>にあるM2B学習支援システムマニュアルを参照してください。



**■ M2B 学習支援システム学生用マニュアル**  
eラーニングシステムMoodle、eポートフォリオシステムMahara、デジタル教材配信システムBookRollの3つのシステムをまとめた学習環境をM2B(みつば)と呼んでいます。本書では、M2Bの使い方やサポートについて説明しています。



**■ アクティブ・ラーナーへの第一歩 ~基幹教育攻略ガイド~**  
九州大学で学ぶ上で特に知ってほしいことや尊重してほしいこと、基幹教育において注意してほしいことに加えて、レポート作成とプレゼンテーション課題についての入門的な解説を掲載しています。日頃の学習に役に立つ情報が満載です。入学後できるだけ早く目を通すことをおすすめします。



**■ 適正な研究の進め方を知ろう ~九州大学で学ぶ学部生のために~**  
このテキストは、新入生を主な対象として作成された上記の資料、「アクティブ・ラーナーへの第一歩~基幹教育攻略ガイド~」に続くもので、みなさんが2・3年生となった時、自分の研究を始めるその前に知っておいて欲しいことを紹介したものです。英語版「Proper Research Guidelines - A Guide for Kyushu University Students -」も配信されています。

# 九州大学で過ごすみなさんの生活とこころ・身体の健康を見守る キャンパスライフ・健康支援センターの紹介



キャンパスライフ・健康支援センターは、九州大学における学生・教職員への健康支援、心理支援などを行っています。

<http://www.chc.kyushu-u.ac.jp>  
(携帯でも見られます)



## 学生生活や修学の相談

### 学生相談室

学生生活や修学、進路についてのカウンセリング・相談・支援、留学生の相談

例えば・・・

- 勉強がうまくいかない
- 友達関係で悩んでいる
- 学校になじめないなどの相談

臨床心理士資格をもつカウンセラーと各学部・学府の先生方(学生相談教員)が、困り事の相談を受け付けています。

場所  
センターゾーン  
1号館 1階  
(P17参照)

## からだと心の健康相談

### 健康相談室

風邪や腹痛、怪我などの診察、および生活習慣(運動、食事、睡眠など)に関する相談・支援

例えば・・・

- 体調が悪い
- 眠れない
- 元々持病があるなどの相談

医師、保健師が常駐して、小・中・高校にある保健室と同じように、健康診断、授業や部活中のけがの処置、体調不良時の相談、病院紹介などに応じています。

場所  
センターゾーン  
ローソン2階  
(P17参照)

## 障害やアクセシビリティの支援

### インクルージョン支援推進室

障害のある学生が安心してキャンパスライフを過ごせるように修学環境の整備を推進

例えば・・・

- 障害があるので授業で配慮してほしい
- サポートに関心があるなどの相談

修学機会の均等(授業等における情報保障や教室へのアクセス確保、合理的配慮のための個別支援等)、障害学生支援やアクセシビリティ活動を行うピア・サポーター学生を育成します。

場所  
センターゾーン  
1号館 1階  
(P17参照)

### 学生支援コーディネーター室

教職員と連携し、悩みや困りごとを抱えている可能性のある学生さんに連絡をとり、お話をお聞きしています。連絡があった場合には気軽に話をしてみてくださいね。(センター1号館1階、P17参照)



### 健康開発・情報支援室

みなさんの健康データを収集・分析して、エビデンスに基づいた健康情報発信を行います。

## 各キャンパスにも相談窓口があります

地区	相談窓口	電話番号	受付時間
伊都センター地区	学生相談室	092-802-5820	月～金 10:00～17:00
	健康相談室	092-802-5881	月～金 9:00～17:00
伊都ウエスト地区	学生相談室・健康相談室	092-802-3297	月～金 9:00～17:00
箱崎地区	学生相談室	092-642-3886	月～金 9:00～17:00
	健康相談室	092-642-2287	月～金 9:00～17:00
大橋地区	学生相談室・健康相談室	092-553-4581	月～金 9:00～17:00
病院地区	学生相談室・健康相談室	092-642-6889	月～金 9:00～17:00
筑紫地区	学生相談室・健康相談室	092-583-7685	月～金 9:00～17:00

## 留学情報

あらゆる分野において国境のボーダーレス化が進んでいる現代社会では、世界を視野にグローバルに活躍できる人材が広く求められています。世界を視野? グローバルに活躍? ...今はピンとこないかもしれませんが、でも、これからの世界を牽引していくのは、あなたです! そのためにも、学生時代に「海外」を経験することほど有意義なことはありません。九大では、次の3つのStepで皆さんの海外留学を全面的に支援しています。積極的に海外留学にチャレンジしてみましょう!

### Step1:学内での留学準備

#### ①留学情報の収集

九大主催の留学プログラムにはどのようなものがある? 留学するにはどのくらいの費用が必要? 奨学金は? 海外での生活ってどんな感じ? 等々、実際に留学を経験した学生の体験談も参考にしながら、広く留学に関する情報を集めましょう。

#### ②異文化理解力の強化

様々なイベント等を通じて九大で学ぶ留学生(約2,500名)と交流し、九大にしながら異文化理解を深めましょう。

#### ③語学力の強化

外国語の授業を履修するのみならず、実際に海外に行かなくても留学しているような環境が得られる「学内留学」(留学生向けに英語で開講されている授業の履修)を体験してみましょう。生きた外国語を実感することができます。

### Step2:短期留学

九大には、アメリカ/イギリス/オーストラリア/韓国/台湾/マレーシア...様々な国・地域で行われる短期留学プログラムが目白押しです。外国語の壁を取り除くためにも、留学のイメージをつかむためにも、まずは1ヶ月程度の短期留学にチャレンジしてみましょう。

### Step3:交換留学

九大の交換留学制度を活用し、より長期間(1学期～1年以内)海外に留学してみましょう。日本とは全く異なる環境に身を置き、同年代の外国人の友人と肩を並べて授業を受けることで、議論ができるレベルの語学力を習得でき、また自身の視野を大きく広げることができます。

▶ 海外留学の詳細は、Webサイト(九大Global Gateways)で確認しましょう。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study>

## Self-Access Learning Center

SALCで英語の力を高めよう

「英会話の練習がしたい」、「留学に備えてTOEFLの対策をしたい」、「英語でプレゼンができるようになりたい」、「英語のニュースや記事を読んでみたい」。こうした多様なニーズに応えるためにSALC(センター1号館1F、P17参照)では、アドバイザーや留学生チューターたちによる英語学習相談や留学相談、英会話セッションなど、様々な英語学習支援を提供しています。また、TOEFLをはじめとする英語国際試験の問題集、英字新聞や雑誌記事などの様々なリソースにくわえ、英語を使つてのレクチャー、ゲーム、映画を見てのディスカッションなどの活動を提供し、学生一人ひとりが自分のニーズに合ったリソースに、好きなときにアクセスして活用できるようにしています。

このように、学生自身が主体となる学びを促進していく「教室外」の学習の場であるとともに、SALCは、同じ目的を持つ日本人学生や、世界各地からの留学生との交流の場でもあります。ぜひ一度のぞいてみてください。なお、最新の活動はウェブ(<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~salc/>)または、フェイスブック(SALC at Kyushu University)をご覧ください。



# ようこそ！ 九大図書館へ！！

大学の図書館って、公共図書館や学校図書館とは全く別の世界。  
圧倒的な規模と充実したサービスで、学生の皆さんの大学生活を  
がっちりサポートします！



～次の百年を担う～  
**新中央図書館**  
平成30年10月  
グランドオープン！

部分開館中の新しい中央図書館が、  
ついにグランドオープンします！  
見たこともないような巨大図書館が  
いよいよ全貌をあらわします。  
お楽しみに！！



**4層吹き抜けの開放感あふれる大空間！**

閲覧室に入ると、4層吹き抜けのダイナミックな空間と、それを取り囲むブックウォールが、深い学問の世界へと誘います。

**200万冊の図書に出会える！**

新中央図書館の収容能力はなんと350万冊！  
これは国内の大学図書館で1,2を争います。  
そのうち、直接手にとれるのが200万冊！  
まさに膨大な知が凝縮した図書館です。

**ひろーいアクティブラーニングスペース**

1,000㎡もあるアクティブラーニングスペースは、イベントもできるオープンなスペースから、グループでディスカッションができる個室スペースまで、あなたの「やりたいこと」をドーンと受けとめてくれるスペースです！

**パンの香りたてようカフェも！**

エントランスには、地元のパン屋さん「童夢の森」が運営するカフェが併設されます。勉強で疲れたときに…ちょっと小腹がすいたときに…焼きたてパンとコーヒーでゆったりどうぞ！

## 資料を探したい

**本を探す**  
読みたい本を探すときは、まずは図書館のWebサイトの「九大コレクション」で検索してみましょう！  
九大にある本や雑誌を一発で探して、どこにあるかを教えてください。  
他にも様々なデータベースが使えるので、ぜひご利用ください。

**図書を取り寄せる**  
読みたい本が「九大コレクション」で見つかったけれど、伊都キャンパスの図書館にない！  
そんなときも大丈夫。Webで取り寄せの手続きをすれば、  
ほぼ1～2日で最寄りの図書館に届きます。  
※資料によっては予約・取り寄せができませんので、詳しくは図書館Webサイトをご覧ください。



## 大学の勉強の仕方を教えてほしい

**レポートやプレゼンテーションの手法を学ぶ**  
はじめてのレポートやプレゼンも大丈夫！図書館で開催される新入生向け講座では、先輩たちの豊富な経験談や模擬プレゼンが聴けて、即役に立つこと間違いなし！

◆ **レポートの書き方講座**  
毎年受講者が殺到する人気の講座。レポートを書くための必要なポイントをわかりやすく説明します。(5月ごろ開催)

◆ **プレゼン講座**  
パワーポイントの作り方って？そもそもプレゼンって何を準備したらいいの？そんなプレゼン初心者のための講座です。プレゼンのイロハがわかります！(6月ごろ開催)

◆ **実験レポート講座**  
おもに自然科学総合実験を受講している1年生を対象とした講座です。実験原理や目的って？考察と結論の違いがわからない！そんな疑問にお答えします。毎週課されるレポートがこれでおもしろい！(5月ごろ開催)

◆ **相談に乗ってもらう**  
困ったときは、図書館の「学習相談デスク」へ！  
図書館TA(Cuter)と呼ばれる大学院生が、学習に関する疑問やお悩みをみなさんと一緒に解決してくれます。わからないことがあれば気軽にお声かけください。講座に参加して、レポートを書いたのでもチェックしてもらいたい…という方にもオススメです。

## 勉強したい

★ **ひとりで静かに勉強する**  
各閲覧室をご利用ください。また伊都図書館には個室や半個室などがあります。個室は手続きが必要ですが、閲覧室や半個室は自由に利用できます。

★ **みんなで勉強する**  
グループでディスカッションしたり、発表の練習をしたり…そんなことも図書館でどうぞ。自由に動かせる机やホワイトボード・大型ディスプレイなど、設備の充実したいろんなタイプの部屋があります。  
※グループで貸し切れる部屋もあります。予約は図書館Webサイトのマイページから！  
※プロジェクタの貸出も行っています。(伊都図書館・新中央図書館)

## こんなことも！

▽ **印刷する**  
USBから印刷ができます。また、伊都図書館では、自分のPCにプリンタドライバを設定すると、PCからプリントできます。

▽ **パソコンを使う**  
館内は学内Wi-Fi完備。自分のPCやスマホもWi-Fiにつないで利用することができます。机にはコンセントもあるので安心！自分のPCがないときは、ChromebookやiPadの貸出を行っています(館内利用・当日のみ)。

## 伊都図書館



1年生のみさんが入学後おもに利用する図書館です。  
1年生用の授業の教科書・参考書や、教養書、小説など、幅広い資料がそろっています。  
カラフルな遊び心あふれる家具も楽しみのひとつです。

開館時間：[平日] 9:00～21:00(試験期間は22時まで)  
[土日祝日] 10:00～18:00  
TEL: 092-802-2450(カウンター)  
E-mail: titoservice@jimu.kyushu-u.ac.jp

## 嚶鳴天空広場 Q-Commons



センター2号館4階にある学習・交流スペース。基幹教育のシラバス等に掲載される、授業に直接関係する図書がそろっています。  
[貸出冊数/期間] 3冊/1週間

開室時間：[平日] 9:00～21:00  
※土日祝日、基幹教育の授業を行わない休業期間は休業  
TEL: 092-802-5877(カウンター)

## 新中央図書館 (部分開館中)



できたばかりの新しい図書館。現在1/3だけ部分開館しています。秋に全面開館したら、1年生向けの資料やサービスは、こちらの図書館に移ります。

開館時間：[平日] 10:00～18:00  
※8-9月は休館して、グランドオープンの準備をします  
TEL: 092-802-2480(カウンター)

※この情報は2018年4月現在のものです。移転に伴い変更する場合がありますので、最新の情報は図書館Webサイト等でご確認ください。

## 情報環境を使いこなそう！情報相談室からのお知らせ

九州大学では学生の皆さんが充実した学習を進めていけるよう、様々な情報サービスや学習コンテンツを提供しています。これらの情報環境をうまく使いこなして、質の高い学習を進め、快適で実りある学生生活に役立ててください。

### ★まずはこれが基本！学生生活に必須の情報環境★

以下の情報環境は、大学で学習を進める上で必須のものです。入学式前に実施された新入生PC講習会をふまえ、まずはこれらをしっかりと使いこなしましょう。

#### ◆ 学生IDの管理と学生基本メールの利用

皆さん一人ひとりに提供されたアカウント(学生ID)を利用することで、学生基本メールの送受信、ネットワークの利用など、様々な情報環境の利用が可能になります。学生基本メールへは重要な連絡が行く場合がありますので、その内容を確実にチェックできるよう、以下のWebページを参考にPCやメールの設定を行いましょう。

📄 <http://www.m.kyushu-u.ac.jp/s/> (学生基本メール)



#### ◆ ネットワーク(無線LAN)

センターゾーンにはほぼ全域に無線LANアクセスポイント(edunet)が設置されており、皆さんの個人PCやモバイル機器などを接続できます。設定方法等は以下をご覧ください。



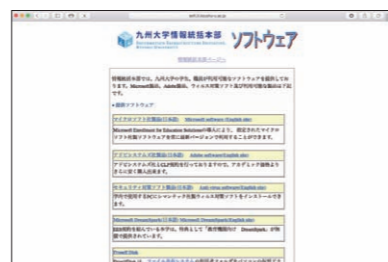
📄 <http://iii.kyushu-u.ac.jp/general/service/network/> (情報統括本部 ネットワーク)



#### ◆ 大学が提供するソフトウェアの活用

九州大学の学生および教職員は、Windows OS(※)、Microsoft Office、セキュリティ対策ソフトなどを個人所有のPCに無償でインストールし、利用することができます。利用方法の詳細は下記Webページをご覧ください。

📄 <http://soft.iii.kyushu-u.ac.jp/> (情報統括本部 ソフトウェア)  
(※ Windows OSマシンでのアップグレード及びMac OSマシンへの新規インストール)



#### ◆ 授業での活用

一部の授業では個人所有のノートPCを活用します。授業で利用する際には、事前に充電を行ってくださることを忘れずに！



#### ◆ M2B(みつば)学習支援システム

eラーニングシステムMoodle、eポートフォリオシステムMahara、デジタル教材配信システムBookRollの3つのシステムをまとめた学習環境をM2B(みつば)と呼んでいます。各システムには以下のページからアクセスできます。

📄 <https://m2b.s.kyushu-u.ac.jp/>  
システムのマニュアルは以下のページで配信されています。  
📄 <http://lac.kyushu-u.ac.jp/m2b/index.html>



### M2Bの各システムの概要

#### eラーニングシステム Moodle

1講義ごとに『コース』が設けられ、コースの中で出席、小テスト、教材配布、レポート受け取り、アンケートなどを電子で行うことができます。



#### eポートフォリオシステム Mahara

講義で学んだことを記録して、自分自身の学びを振り返ることに利用します。講義ごとに用意された『日誌』に、各回の学びを書き留めていきましょう。



#### デジタル教材配信システム BookRoll

講義で使用するデジタル教材を配信しています。閲覧の他に、マーク・しおり・メモなどの機能を使うことができます。



### ★自律的に学習を進めるために！★

ここまで紹介したものの以外にもたくさんの情報サービスが用意されています。これらを使いこなし快適で実りある学生生活を送ってください。

#### ◆ 基幹教育®の情報

基幹教育院のホームページでは、学生ポータルシステムや授業シラバスなど、大学生活の様々なシーンで役立つITサービスへのリンクを掲載しています。日頃からこまめにチェックするようにしましょう。

📄 <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp> (基幹教育院)



#### ◆ 自習スペースの利用

センター1、2号館の一部の部屋は自習向けに開放しています(授業実施中の講義室を除く)。個人所有のノートPCを活用した学習などにぜひ役立ててください。なお、PCの充電は指定された場所以外では行わないようにしてください。また、学習以外の目的での充電は禁止しています。開放時間等の詳しい情報はホームページや掲示を確認してください。

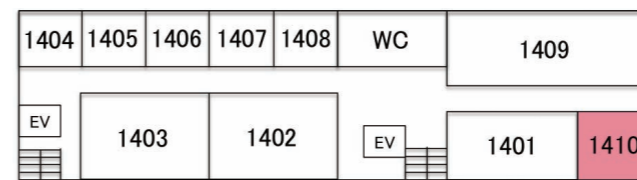
📄 <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~csr/> (情報相談室)



自習開放場所	設備や用途
2107講義室、2108講義室、情報相談室(1410)、 嚶鳴天空広場	個人所有PC持ち込み(充電可)

### ★困った時は？★

センター1号館4階の情報相談室(1410室)では、情報環境や個人ノートPCの利用に関するサポートを行っています。困った時は気軽にお越しください。



センター1号館4階

#### 情報相談室の開室時間・連絡先

場 所：センター1号館4階1410  
開放時間：平日8:30~17:00  
T E L：092-802-5892  
E-mail：csr@artsci.kyushu-u.ac.jp



## 体育系学生団体

- 合気道部
- アイスホッケー部
- 芦原空手部
- アメリカンフットボール部
- 応援団
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 航空部
- 硬式ソフトボール部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 山岳部

- 自動車部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- ソフトテニス部
- 体操部
- 卓球部
- テコンドー部
- 軟式野球部
- 馬術部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- バドミントン部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- ハンドボール部
- フェンシング部

- 漕艇部
- 洋弓部
- ヨット部
- ラグビー部
- 男子ラクロス部
- 女子ラクロス部
- 陸上競技部
- 錬心館空手部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング同好会
- トライアスロン部
- ハンググライダー愛好会
- ラケットボール愛好会
- ウィンドサーフィン愛好会
- 水球部
- チアリーディング愛好会
- 体育総務委員会

## 文化系学生団体

- 囲碁部
- 映画研究部
- 英語研究部(E.S.S)
- SF研究部
- 演劇部
- 音楽鑑賞部
- ギターアンサンブル
- グリーンクラブ
- 軽音楽部ジャズ研究会
- 国際親善会
- 混声合唱団
- 茶道部(裏千家)
- 写真部
- 将棋部
- 書道部
- 吹奏楽団
- 生物研究部
- タップダンスサークル
- 探検部

- 男声合唱団コールアカデミー
- 地学研究部
- 鉄道研究同好会
- 鳥人間チーム
- 能楽部
- バンド同好会
- 美術部
- 百人一首愛好会
- フィルハーモニーオーケストラ
- フォークソング部(Q-FOLK)
- 物理研究部
- 舞踏研究部
- 文芸部
- 邦楽部
- 放送研究会
- 法律相談部
- ボランティアサークル
- 漫画研究部
- マンドリンクラブ
- 落語研究会
- ロック研究会(Be-Rock)
- PLANET-Q
- ICPCチャレンジ部

- 民族舞踏研究会
- マジックサークル
- アニメーション研究会
- 模型部
- 環境サークル Ecoa
- ピアノの会
- ATP
- カフェ運営サークル茶処
- ジャグリング部
- アコースティックギターサークル
- アカペラサークル(harmoQ)
- クイズ研究会
- ポケモン研究会
- ヒューマノイドプロジェクト
- 糸島空き家プロジェクト
- ロボコンチームKURT
- 次世代ものづくりプロジェクト
- 学生フォーミュラ計画
- 九大謎解き企画Quest
- KTC自動二輪部
- 化学研究部

## 困ったときは、相談してください!

### 事務窓口

(平成30年3月13日現在)

#### ■ 基幹教育課・学生支援課事務室 (センター1号館2階)

《窓口時間》

通常の期間 8:30~17:15

※4月は、8:30~18:15

《休業日》

土曜日・日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日

(年末年始休業 12月29日~1月3日)

[担当窓口一覧] .....

#### ● 基幹教育課

基幹教育教務係 TEL 092-802-5941~5945

基幹教育科目の履修・定期試験に関する事、授業アンケートに関する事

#### ● 学生支援課

学生支援係 TEL 092-802-5961

学籍異動(休学等)、現住所・保護者等に関する事、学生証再発行、海外渡航に関する事、バイク入構登録、遺失物・拾得物に関する事、通学証明書、学生割引乗車券及び各種証明書に関する事、学生教育研究災害傷害保険に関する事

課外活動支援係 TEL 092-802-5966

課外活動に関する事、体育館・グラウンド等の施設利用に関する事

厚生係 TEL 092-802-5991

学生寄宿舎に関する事

#### ● キャリア・奨学支援課

キャリア・就職支援第一係 TEL 092-802-5897

就職情報・就職支援に関する事、就職相談に関する事、就職ガイダンス・セミナー等に関する事

キャリア・就職支援第二係 TEL 092-802-5903

キャリアガイダンス・インターンシップに関する事、公務員試験対策講座に関する事、TOEIC 対策プログラムに関する事

学生納付金免除係 TEL 092-802-5948

入学料免除、入学料徴収猶予及び授業料免除に関する事

奨学金係 TEL 092-802-5931

日本学生支援機構奨学金及び各種奨学金に関する事

#### ● 外国人留学生・研究者サポートセンター(センター1号館2階)

TEL 092-802-5973

業務窓口時間: 月~金 9:00~17:00

業務内容 外国人留学生や外国人研究者を対象とした

各種手続や生活上の支援

(英語による対応可)

### 伊都キャンライフ

(平成30年3月13日現在)

<https://ito.ait.kyushu-u.ac.jp/itocamlife/>

九州大学大学院システム情報科学研究所研究室では、伊都キャンパス内でのイベントのお知らせ、改善すべき問題への提案などを行う基盤を「伊都キャンライフ(Ito Campus Life)」と名付け、公開しています。

### 【表紙写真】



タイトル: 自然に包まれて  
撮影者: 九州大学写真部 Phua Yin Kan  
撮影場所: 伊都キャンパス前の池からウエスト1号館を臨む

伊都キャンパスに向かう途中のやすらぎ池。この日、そよ風に吹かれ、水面に描かれる漣の中から威厳ある理学部棟がかすかに映る。雲は空を翔のように、九州大学が学問と叡智を追いかけ続けているように見える。伊都キャンパスに通うたびに眼に映る何気ない一コマでも、パッと振り返ってみれば、そのキャンパスの奥深さが見えてくる。みなさまもそう思うのでしょうか。



### 【裏表紙写真】

撮影者: 九州大学写真部 Phua Yin Kan  
撮影場所: 伊都キャンパスセンターゾーン銘板前

### 編集委員

【◎委員長】

- ◎野口 高明(基幹教育院 教授)
- 中里 健一郎(基幹教育院 助教)
- 舟橋 京子(比較社会文化研究院 講師)
- 木村 崇(理学研究院 教授)
- 峯 恒憲(システム情報科学研究所 准教授)
- 今坂 英之(基幹教育院 技術職員)
- 上蘭 直和(学務部学生支援課 課長補佐)
- 田中 紀代美(学務部基幹教育課 課長補佐)

# センターゾーンを使いこなそう!

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんにとってこれから始まる大学生活は、希望に満ち溢れていることでしょう。もしかすると、新しい環境に飛び込むことを、少々不安に思うことがあるかもしれません。大学生活は、今までとは異なり、自主的に行動することが求められます。センターゾーンの施設を賢く利用し、これからの大学生活を有意義なものにしていきましょう!

## 13 新中央図書館 [部分開館中]

♥ 3階エントランス

センター2号館から2つの連絡橋をわたると、H30年秋に全面開館する新しい図書館があります。現在部分開館中ですが、1,000㎡もあるひろーいアクティブラーニングスペースやダイナミックな吹き抜けにある閲覧席などが使える穴場スポットです。(詳細はP10,11)

## 8 椎木講堂

♥ ホール1階・2階ホワイエ  
管理棟1階エントランス・3階EV付近

3000人収容の大空間です。可動間仕切りにより、ホール・講義室としても利用できます。会議室・ギャラリー・展示コーナー・レストランもあります。

## 9 センター3号館

♥ 南棟3階ホール  
東棟1階エントランスホール

基幹教育院の教員の研究室があります。

## 10 連絡橋 (九大ゲートブリッジ)

センター2号館と3号館を結ぶ連絡橋です。

## 駐 駐輪場

## バ バイク置場

自転車とバイク置場は分かれています。決められた場所に停めてください。

## ★ セキュリティポール

伊都キャンパス内に、緊急電話及び防犯カメラを備えたセキュリティポールが全19台設置されています。事件や事故が起こった際に、緊急電話で連絡すると守衛所に繋がります。警備員が駆けつけます。センターゾーンに5台、陸上競技場付近に2台設置されています。もしもの場合に備え、設置場所を意識しておきましょう。



## ♥ AED (自動体外式除細動器)

心臓発作など万一の事態が起きた場合は、救急車が来るまでに、AEDを使用して、心臓マッサージと人工呼吸を行う必要があります。AEDは、伊都キャンパス内に全26台(内センターゾーンに13台、陸上競技場付近に2台)設置されています。万一の事態に備え、設置場所を確認しておきましょう。



## 1 ビッグオレンジ

### ビッグオレンジレストラン

ちょっとリッチなランチを食べたいときはこちらへ。週替わりランチセットもあります。夜の団体での予約も受け付けています。



## 11 咬咬舎

### ATM (福岡銀行)

店内には、書店と売店があり、書籍や文房具、弁当や飲み物の提供をするほか、自炊食材の販売を行っています。また、旅行受付業務や住まいのあっせん等様々なサービスを提供しています。



## 12 ていいていしゃ 亭亭舎

昼間は学生が食事を亭亭舎内でくつろぎながら摂れるように開放し、夜は懇親会や交流会などの利用を想定し、予約制の形をとります。予約は咬咬舎カウンターで受け付けます。



## 2 センター1号館

♥ 1階北側通用口

### 1F 学生相談室 インクルージョン支援推進室 学生支援コーディネーター室

大学生になるといろいろ悩みもできます。そんなときはカウンセラーの先生方が話を聞いてくれます。修学以外のことでも、何でも気軽にご相談ください。(詳細はP8)

### 1F SALC

英語学習のための自律学習スペースです。アドバイザーや留学生チューターが英語学習や留学の相談にも応じています。英語国際試験対策や留学生との英会話セッションも人気です。(詳細はP9)



### 2F 基幹教育課・学生支援課

学部1年生の間、一番身近でお世話になることが多い窓口です。授業や試験のことはもちろん、定期券や、学割証、奨学金などもこちらで受け付けています。分からないことがあったら、気軽に足を運んでください。



## 6 伊都図書館

♥ 1階ロビー

伊都キャンパスの図書館です。センターゾーンから徒歩5分程に位置し、豊富な書籍や自習スペースなどがあり、学習の場として最適です。(詳細はP10,11)

## 7 課外活動施設 I

学生団体の部屋があります。1F事務室と総合体育館事務室で学生団体等での体育施設・課外活動施設Ⅱ・センター2号館などの予約ができます。個人では、グラウンド・テニスコートなどの予約ができます。授業や部活・サークル以外でも、身体を動かしてリフレッシュしてみたい方がですか?



## 5 伊都地区専用循環バス

### ビッグさんど バス停

伊都キャンパスは広いので、循環バスが走っています。歩いていくには少し遠い。そんなとき、ぜひご利用ください。



## 4 生活支援施設 (ビッグさんど)

### B1・1F 学食・喫茶 (ビッグさんど)

丼物・麺類から定食まで、メニューが豊富に揃っています。量り売りコーナーもあります。喫茶コーナーではパンやスイーツがあります。いれたてのコーヒーと一緒にいかがですか?

### 1F ローソン

やっぱり便利なコンビニ。キャンパス外のコンビニまではちょっと距離があり不便ですが、学内にあるのでとても便利です!

### 1F ATM (西日本シティ銀行)

西銀のATMがあります。福岡銀行やゆうちょ銀行などもキャッシュカードの利用は可能です。なお、咬咬舎(P17参照)には福岡銀行ATMが、ウエストゾーンには福岡銀行とゆうちょ銀行のATMがあります。

♥ 1階ローソン横出入り口



### 2F 健康相談室

けがをした、体調が悪い...そんなときはこちらへ。医師・看護師・保健師さんが対応してくれます。(詳細はP8)



## 3 センター2号館

♥ 1階ピロティ

### 1F カフェ・軽食・ハラル(QASIS)

パスタやカレーなどの軽食、喫茶ができます。宗教食に対応したコーナー「ハラル」もあり、チキンパブ井など日本人にとっては目新しいメニューも取り扱っています。



### 1F 嚶鳴珈琲館

学生により運営されている「カルチャーカフェ茶処」の伊都店です。コーヒーが飲みたいときに限らず、ちょっと一息、友だちとおしゃべりしたいときなどにご利用ください。



### 1F サポート室

入学後、今までと違う環境になり、不安はありませんか? 分からないこと・気になることなどに先輩がお答えします。親や先生、友人に言えないことも先輩だったら話せるかも。大学生活から勉強まで、ささいなことでも気軽に話しに来てみませんか。(詳細はP5)

### 4F 嚶鳴天空広場 (Q-Commons)

学生が自由に使用できる自習室です。自分のPCを持ち込んで利用することも可能です。また、書籍の貸出もしています。空き時間にぜひご利用ください。(詳細はP10,11)



**嚶鳴** おうめい **第11号** 九州大学基幹教育広報誌

発行日 2018年4月1日

発行元 九州大学基幹教育院

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地

電話 092-802-5921・5922 / FAX 092-802-5990

印刷 株式会社ミドリ印刷